



「カテエネ」コラムでの情報発信（その1）

お風呂を沸かす際の省エネ性に関する実験

背景・目的

- お客さまが楽しみながら省エネを実現していただくことを目的に、暮らしにおける豆知識について、省エネや快適性の効果を確認するための実験をおこなっています。
- その結果を家庭向けWebサービス「カテエネ」のコラムに掲載し、情報発信しています。

特長

お風呂の準備は
「給湯で湯張り」と「水から追い焚き」
どちらが時短&省エネ？

用途

- ガス給湯器で、「①フルオート（自動湯張り）」「②蛇口から給湯」「③水から追い炊き」の3つのうち、最も時短・省エネとなるのはどれか、実験しました。

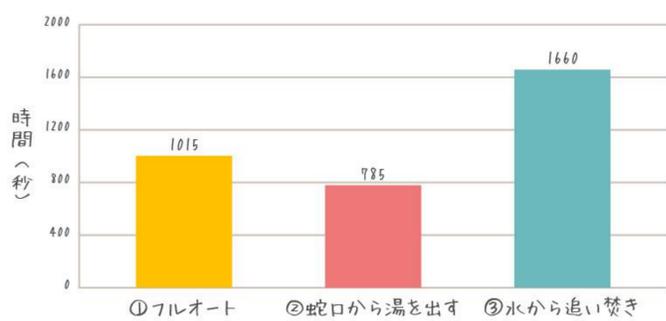


すぐにお風呂に入りたいときは
「蛇口から湯を出す」と早くお風呂が沸かせる！



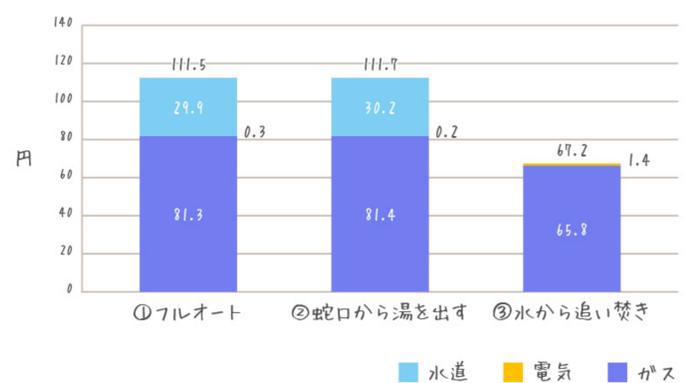
一番経済的なのは「水から追い焚き」
「フルオート」と比べると1回あたり44.3円節約になる！

所要時間



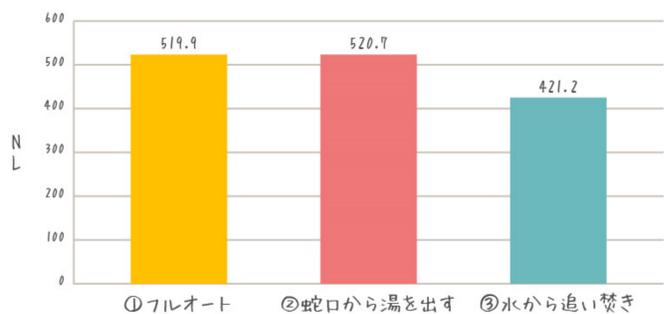
【実験条件】
設定温度は、沸き上げ完了時の浴槽の平均湯温が約40℃になるように設定。「③水から追い焚き」は、フルオート（風呂温度40℃設定）で湯張りし、20時間放置した後に追い焚き。湯張り量は180リットル。

料金



※各料金単価は、下記を適用しました。
【ガス料金単価】156.29円/m³（カテエネガスプラン1・従量料金単価B:21～50m³）
【電気料金単価】25.51円/kWh（おとくプラン料金単価・120kWhをこえ300kWhまで）
【水道料金単価】169.40円/m³（名古屋市上下水道局・税込従量料金単価：21～40m³）

ガス流量



NL…温度、圧力が一定の状態でのガス流量の換算値

< 結論 >

お風呂の準備は「給湯で湯張り」と「水から追い焚き」
どちらが時短&省エネ？

↓ ↓ ↓
最も時短なのは、「蛇口から湯を出してためる」

省エネ&経済的なのは、
残り湯を活用した「水から追い焚き」

※追い焚きをするときは
蓋をすると時短&省エネに！



開発者の
ひとこと

これからも、毎日の生活に密接に関わり、お客さまに関心を持っていただけるようなテーマを取り上げ、省エネや快適さに関する情報発信をしていきたいと考えています。